

平成 29 年度 宮島地区パークボランティアの会総会

PV の会平成 29 年度定期総会が 4 月 8 日(土)杉之浦市民センターに於いて開催された。

出席者：麻生 足立 猪谷 岩崎 大西 小方ペア 小川 奥田 恩田 金山 川崎 河村 北野 黒木
五石 小林ペア 佐渡 佐藤 末原 田中 中道 檜和田 佛崎 前田 増田 舩田 松尾 松田 森
柳瀬 山崎 山本(章) 横路 吉崎 呼坂 以上 37 名
(委任状提出者を除く)

環境省：関自然保護官 川原 AR

1. 開会 (司会 岩崎副会長)

開会前に満開の桜の下で全会員の集合写真を撮影し、定刻 9 時 30 分に開会。

3 月 19 日逝去された佐藤(佐)会員のご冥福を祈って黙祷を捧げた。

配布資料の確認のあと、出席者全員が自己紹介を行った。

2. 開会あいさつ (司会 岩崎副会長)

● 環境省・関自然保護官挨拶

観光客が最近の 10 年で 50%増加し、自然保護活動の重要性も高くなっています。引き続き PV 活動をよろしくお願いします。

武石自然保護官は鹿児島に転任しました。新任の川原 AR をよろしくお願いします。

● 環境省・川原 AR 挨拶

広島県福山市の出身です。自然保護関係の仕事は初めてですが、早くお役にたてるよう頑張ります。

● 村上会長挨拶 (都合で欠席のため、末原副会長が、会長からの伝言を伝達した。)

・ミヤジマトンボ保護協議会の会議に於いて坂本会長から当会の協力にお礼の言葉を頂いた。
・行事の準備・進行の更に円滑な推進を期するため、「行事推進員」を設けた。積極的に参加協力をお願いします。

・佐藤(佐)会員の葬儀に、当会役員と共に武石自然保護官の参列を頂いた。ご家族から、ミヤジマトンボ保護活動など PV 活動を楽しんでおられた、とのお話があった。

・坂本会員が退会された。

3. 総会の成立確認 (司会 岩崎副会長)

出席会員数 37 名、委任状提出者 7 名、合計 44 名で、会員総数 46 名の過半数あり、総会が成立したことを確認。

4. 議事 (議長 末原副会長が代行)

(1)審議

次の 4 議案につき会長・各部会長・会計から説明・報告がなされ、異議なく承認された。

議案 1 平成 28 年度活動状況について

議案 2 平成 28 年度決算 (案) について

足立監査員から「適正」との監査報告

議案 3 平成 29 年度活動計画(案)について

議案 4 平成 29 年度予算(案)について

(2) その他の審議事項

無し

5. 至近行事の説明 (小林部会長、末原部会長)、その他

(1)至近行事の説明

・ 4/22 多々良～青海苔清掃登山

・ 5/13 公募観察会「春の新緑と歴史の宮島ウォーク」

(2)その他

新会員募集計画、パークボランティア災害保障保険のこと、また宮島の事物で使用される伝統的言葉、専門的用語などが話題となり、情

報・理解の共有が出来た。

6. 総会終了

11 時 30 分終了。

(文：前田 忠瑛、写真：中道 勉)



H28年度 PV活動記録

(平成28年4月～29年3月)

	開催日	行 事	場 所	参加会員	備 考
会 合	4/2(土)	平成28年度定期総会	杉之浦市民センター	38	
	12/3(土)	臨時総会	宮島市民センター	30	
観 察 部 会	5/14(土)	公募観察会① 自然・歴史	広大植物園路・室浜	23	公募参加者46名
	7/30(土)	公募観察会② 自然	鳥居周辺干潟	14	公募参加者13名
	4/2(土)	自主観察会①	小なきり周辺	7	植物・生物調査、総会後
	5/7(土)	自主観察会②	広大植物園路・室浜	14	兼公募観察会①下見
	7/23(土)	自主観察会③	鳥居周辺干潟	11	兼公募観察会②下見
	9/25(日)	自主観察会④	佐伯運動公園	10	野鳥調査・ハチクマの渡り
	11/12(土)	自主観察会⑤	要害山～紅葉谷～大元	14	兼公募③下見
	11/26(土)	自主観察会⑥	金輪島	19	島外調査
	H29/1/7(土)	自主観察会⑦	弥山	17	新春弥山登山
	2/4(土)	自主観察会⑧	宮島	17	野鳥観察
	4/2(土)	入浜池補足調査①	入浜池周辺	11	総会後
	5/21(土)	入浜池補足調査②	入浜池周辺	13	
	8/20(土)	入浜池補足調査③	入浜池周辺	6	
	10/15(土)	入浜池補足調査④	入浜池周辺	8	
	6/25(土)	入浜池定点観察①	入浜池周辺	16	
	7/23(土)	入浜池定点観察②	入浜池周辺	15	
	9/24(土)	入浜池定点観察③	入浜池周辺	18	
	H29/2/18(土)	入浜池定点観察④	入浜池周辺	12	
環 境 整 備 部 会	4/2(土)	宮島市街地周辺美化清掃	小なきり浜	18	総会後
	4/23(土)	大砂利地蔵清掃登山	博奕尾～大砂利地蔵～鷹ノ巣	13	
	6/18(土)	ミヤジマトンボ生息地清掃	宮島南西部	11	
	7/16(土)	包ヶ浦海岸清掃活動	包ヶ浦	23	瀬戸内海環境保全協力
	7/18(月)	厳島神社前海浜清掃活動	厳島神社前海浜	21	
	8/7(日)	自然公園クリーンデー清掃活動	宮島海浜	12	環境省、廿日市市
	10/27(木)	紅葉谷公園歩道補修・清掃活動	紅葉谷公園	14	宮島さくら・もみじの会と協働
	11/5(土)	樹木名板維持管理活動(うぐいす・もみじ・あせび各歩道)		15	
	12/16(金)	弥山登山道補修及び清掃活動(獅子岩駅～弥山～大聖院)		11	
	H29/2/25(土)	コバンモチの樹木ネット保全確認作業(室浜～大江浦)		14	広大自然植物実験所と連携
	3/11(土)	鷹ノ巣高砲台跡の整備清掃活動	鷹ノ巣高砲台跡	16	
	H28/6/25(土)	入浜池維持管理作業①	入浜池	16	
	7/23(土)	入浜池維持管理作業②	入浜池	15	
	9/24(土)	入浜池維持管理作業③	入浜池	18	
	H29/2/18(土)	入浜池維持管理作業④	入浜池	12	
そ の 他	6/14(火)	ミヤジマトンボ生息地保全整備作業	宮島南西部	9	
	9/3(土)	環境省主催研修会・宮島PVのこれまでとこれから	宮島市民センター	32	人間科学研究所所長 志賀誠治氏
	10/22(土)	PV会員交流会	岡山自然保護センター	20	日帰り
	12/3(土)	宮島PV自主研修会	小笠原島紀行	29	北野会員発表
	H29/2/7(火)	ミヤジマトンボ生息地保全整備作業	宮島南西部	12	
	3/5(日)	廿日市市市民活動センターまつり	市民活動センター	3	当会の活動紹介

注：行事名の付番の欠番は雨天等で中止した行事

入浜池定点観察④ 及び維持管理作業④

日 時：2月18日(土) 9:30~12:00

天 候：晴れ 気温 11~13℃ 風が冷たい

参加者：大西 小川 恩田 川崎 黒木
小林ペア 末原 前田 松田 森
山本(章) 以上 12 名

【植物】小林(み)会員

ヤブツバキとアセビが花盛りです。もう春が待ちどおしいようにヤマモモの蕾とクロキの蕾が大きくなっていました。

【水質】小川会員

今日はごらんの通り水が少なかったです。杭からの+は計測不能、また猪のヌタ場状になっていて周囲は乾燥している。水温は A 地点 10.3℃、B 地点 9.7℃、中央地点 10.2℃ E 地点 9.8℃、F 地点 10.7℃。PH は A 地点 6.8、B 地点 7.5、中央 6.5、E、F 地点 6.8。

塩分濃度は、A 地点 0.37%、B 地点は 0.31%、中央が 0.33%、F 地点は 0.34%。



水が極端に減った D 地点

COD は A、B、E、F の各地点 6、中央 6。

池全体で生き物は見つからなかった。

【野鳥】大西会員

あまりにも静かだなあー、と言うのが一番印象でした。今日確認できた鳥を列記します。カルガモ 4 羽（沖の筏上）、カモメ類、キジバト 2 羽、アオサギ 1 羽、ミサゴ 2 羽（既に巣作りをしているようです）、トビ 8 羽、キツツキがドラミングをしていました。ハシボソガラス、ヤマガラ、ヒヨドリ、ウグイス 3 羽、ミソサザイ（倒木の間、入浜初認）、シロハラ 3 羽、ジョウビタキ♂♀、ホオジロ 2 羽、アオジ♂2 羽。以上 16 種でした。



ミサゴ

【生物】松田会員(文・写真共)

前日の早春の雨に促された水辺の生き物の活動を期待しましたが、池の水温も 10℃に満たず、カエル類・魚影などは見えませんでした。日だまりはぼかぼかと暖かく、とりわけ入浜の砂地では、ハエやハナアブ類が飛び、ウツキコモリグモなどの網を張らない徘徊性のクモ類が歩き回っていました。

また波打ち際には、打ち上げられたヒトデやカイメン、貝殻、海藻などに混じって、大型のウミウシのなかまが打ち上げられていました。体長は約 10cm、頭膜が幅広く、白色地に多くの紫褐色と黄色の小さな斑紋が散ら



入浜に打ち上げられたヒカリウミウシ。左が頭で上が背面。大型種で発光性、本州・九州に分布する。

ばるのが特徴のヒカリウミウシとみられます。背面の複雑な突起や触角も特徴的ですが、瀕死の状態のためか海水に戻してもはつきりしませんでした。浜全体で 2 個体が打ち上がっていました。

(まとめ：小林 勲)

【維持管理作業】末原会員

渇水期で池の水位が下がり、水路は枯れていましたが、池周囲のカキ養殖用パイプや発泡スチロールの収集作業ができました。海岸清掃と合わせたゴミ収集量は 80Kg でした。



集めたゴミの仕分け確認作業

コバンモチの 樹木ネット保全と 成育状況調査

日 時：2月25日(土) 9:00～15:00

天 候：晴れ

参加者：大林 川崎 北野 黒木 小林ペア
佐藤 末原 前田 増田 森 吉崎 横路
呼坂 以上 14 名

広島大学 坪田准教授 内田技術員

今回活動参加の感想等

コバンモチは南方系の植物で宮島が北限の貴重植物です。

広島大学自然植物実験所より西側の内侍岩～大江東付近の斜面に自生しています。

これらの樹木の生育状況および鹿の食害から防止するために取付けた樹木ネットの保全状況を広島大学と協同で調査しました。

実験所前広場で、出発前の点呼、移動および作業の説明がありました。班編成は、実験所から山道を実験所方面に向かう班と大江東方面から山道を実験所方面に向かう班の2班です。さらに役割分担の後、樹高計などの器材を携えて出発しました。

現地到着後直ちに調査に入りました。コバンモチは急斜面に生えているものが多く、また、その回りをシダが取り囲んでいるため、接近と計測はかなりハードな作業でした。

山道をはさんで標高約 66m から約 8m に分布しています。最大傾斜は約 40 度です。

平成 22 年度調査は 9 月 25 日にされていますが覆い茂る障害物を相手に大変なことだったでしょう。

2 班が中央部で合流し、調査作業は 13:00 に無事終了しました。広大実験所で終了ミーティングを行い解散しました。

樹木を食い荒らす鹿は、宮島の観光マスコット。嫌われ者のシダが鹿の侵入を阻み貴重植物を守っているとは驚きです。



斜面での作業



位置と番号札を記録表と照合

コバンモチは常緑高木。日本(近畿から九州)、南西諸島、台湾、中国に分布し果実は食べられる。材は白く、鹿児島ではシラキと呼んで木工に使った。(『世界有用植物事典』平凡社による。)

(文：増田 武彦 写真：前田 忠瑛)

これまでの活動概要と今回の調査結果等

活動概要

H15 年 1 月 25 日 シカ食害防護網設置
ほぼ 2 年毎に点検実施

H22 年 9 月 25 日 保全、生育調査
参加者：PV 会員 9 名

H25 年 2 月 23 日 保全、生育調査
参加者：PV 会員 15 名、広大 2 名

H27 年 2 月 21 日 保全、生育調査
参加者：PV 会員 15 名、広大 3 名

H29 年 2 月 25 日 保全、生育調査
参加者：PV 会員 14 名、広大 2 名

調査結果・保全

- 1) 全ての樹木の状況(生きているか、枯れているか)、樹木網、番号札の状態を調査した。
調査総本数 88 本
(リストアップ 99 本のうち、枯木 6 本、不明 3 本、崖下危険、調査不可能 2 本)
- 2) 88 本のうち 5 本は今回新たに発見したもの
- 3) 樹高最高は 19m、胸高全周最長は 168cm
- 4) 生育状況不良 4 本
- 5) 網(樹木ネット)の状況、
網無し 10 本、修正 4 本(全般的に状態は良いが、樹木に食い込んでいるものを抜けた。)
- 6) 番号札、
樹木に食い込んだものや、割れたものがあつたので取り替えた。汚れたものは拭き取り、字の薄いものは書き直した。

今回調査の感想、その他

- 1) 樹木の生育状況、網の状態は良好である。
- 2) 食害の痕跡はなかった。大半が防護網の効果とシダが生い茂り、シカが入れない状況であるためである。
- 3) 途中で樹高計故障のため、16本は目測を行った(大江浦側)。

準備物

- ・広大宮島植物実験所
樹木用巻尺 2 本、樹高計 2 本、ノコ 2 本、鎌 2 本、剪定鋏 4 丁、予備札数枚、黒マジック 2 本
- ・宮島 PV の会
樹木位置図、調査表(前回・記録用)、筆記用具 1 式、ペンチ 2 本、針金 2 巻、バケツ 2 個

コバンモチの樹木保全対策箇所図

(写真、分布イメージ図と向きを合わせるため、原図を回転し上下逆にしています)

コバンモチ分布イメージ図 (緑棒の長さは樹高を示す)



大野の沖塩屋方面から見たコバンモチ自生山林

交流と活動の発表

廿日市 市民活動センターまつり

日 時：3月5日(日) 10:00～15:00

場 所：市民活動センター(廿日市市住吉2丁目)

参加者：足立 岩崎 村上

廿日市市の市民団体を支援し、まちづくりの拠点となっている市民活動センターで、今年もセンターまつりが開催され「つどい・しりあい・つながろう」とのテーマでステージ発表、展示、写真コンテストなど100以上の登録団体が年1回の交流の場を盛り上げています。

当会も活動状況をポスター展示し、おたのしみ抽選会用に景品を提供しました。会場では手打ちそば、杵つき餅の実演販売もあり、来場者は家族連れも多く延べ700人以上となったようです。



PVの活動状況展示



吹奏楽演奏のプッチーナ

(文・写真：足立 清)

鷹ノ巣高砲台跡清掃・整備

日 時：3月11日(土) 9:00～13:00

天 候：晴れ

参加者：岩崎 小川 川崎 北野 小林ペア
佐藤 末原 中道 檜和田 前田 増田
松尾 村上 森 吉崎 以上16名

昨年に続き3月中旬の今年度最後の活動となった高砲台跡の活動は、好天に恵まれ作業

には少し暑く感じる天候となりましたが、16名と多数の参加がありました。

作業は主に砲台台座や連絡階段等の上部と当時生活空間として整備された水回りの溝掃除等の二手に分かれて行われました。

昨年参加した方々等に伺うと、2年ぶりの開催となった昨年のようにシダ等が茂った状態ではなかったようです。しかし、1年も経つと階段等の上には、土が流れ落ち葉が分厚く積もっており、みんなで手分けしてスコップや熊手等で少しずつきれいにしていきました。いつものことながら、作業開始時には「どこから手を付けて、今日でどれほどまでできるのか？」少し不安がよぎるものの、しばらくして調子が出てくると楽しい気分が出てきます。



階段の落葉と土砂除去

そしてちょうど良い頃合いに、末原部会長から休憩の呼びかけと、有難い差し入れがあり、水分とともに体に染みわたりました。

各自がコメント等で少し盛り上がり、作業再開。昼食の後、笑顔で記念写真撮影、作業終了ミーティングの後、帰路につきました。

各自がコメント等で少し盛り上がり、作業再開。昼食の後、笑顔で記念写真撮影、作業終了ミーティングの後、帰路につきました。

今回は、活動の参加も久しぶりで、特に高砲台跡は何年かぶりに訪れたのですが、気持ち良く、汗にわずかの風を感じながら、砲台が設置された明治の時代に思いを馳せ、有意義なひと時を過ごすことができました。

末原部会長をはじめ環境整備部会や幹事の方々の準備等にあらためて感謝いたしました。



集合記念写真

(文：松尾健司 写真：松尾 前田)

— 新任の自然保護官補佐 —

川原 康寛さん プロフィール

出身地：広島県福山市

経歴：18歳まで広島県で育ちました。大学・大学院時代を岡山・京都で過ごし、その後は愛媛の博物館で教育普及関連の学芸員をしていました。

趣味：自然観察、写真撮影、サイクリング
ひとこと：

4月から環境省広島事務所に就きました川原と申します。瀬戸内海の多島美に魅せられ、この地域の魅力を多くの人に伝えたい、後世に残す一助になりたいと思い、アクティブ・レンジャーになりました。瀬戸内海のたくさんある島々の中で、特に宮島には、自然と文化の調和の仕方に独特の魅力があるように感じています。そのような場所で、宮島地区パークボランティアの皆様と活動できることを楽しみにしています。何卒、宜しくお願いいたします。



小なきり浜清掃・観察

日 時：4月8日(土)

天 候：曇り

参加者：麻生 足立 猪谷 岩崎 小方ペア
金山 川崎 北野 五石 佐渡 末原 田中
佛崎 前田 増田 舩田 松尾 森 柳瀬
吉崎 以上 21 名

環境省：関自然保護官

【環境整備】末原会員

朝から天気が危ぶまれましたが、予定どおり作業を行うこととし、海岸の清掃班と植物観察班に分かれて作業を実施しました。

海岸のゴミは、例年より少なく人数も多かったため、約1時間で終わり回収したゴミの収集量は90Kgでした。

【観察】北野会員

植物観察は2班に分かれて調査を行い、海岸清掃と同時に終わりました。今年は花の時期が遅いのか、ザイフリボクも蕾で、コバノミツバツツジも少ししか開花していませんでした。

た。樹木等の調査は去年とさほど変りはありませんでした。



根気強く漂着ゴミを集め分別する参加者

(文：環境整備 末原、観察 北野 写真：前田)

桜花

千畳閣桜吹雪のひとしきり
満開の花の余白の瀬戸の海
清盛の海へ吹雪や山桜
山頂の手植桜に会いに行く
町あげて植ゑし千本桜吹く

大林 實

入浜池補足調査①

日 時：4月8日(土) 12:30~14:00

天 候：曇り

参加者：大西 小川 奥田 黒木 小林ペア 中道
松田 山崎 山本(章) 横路 以上 11 名
環境省：川原 AR

【植物】山崎会員

草花は一気にお花が咲く時期になりました。紫の綺麗な花のナガバタチツボスミレ、カラスノエンドウもたくさん咲いていました。イヌガシ、クロキの花も見ごたえがあります。ヤマザクラが一段と美しく見えました。蕾ではサルトリイバラ、珍しいナンゴクウラシマソウももう少しで花穂をつけるでしょう。ナギ、コウヤマキも元気そうで嬉しかった。

一ロメモ

ナギはアレロパシーというほかの植物の成長を阻害する成分を持っている。ヨモギ、クルマミなども同様の成分を持っている。



クロキ(小林 颯)

【水質】小川会員

12時30分、気温17℃で調査開始です。

地点 項目	A	B	中央 (山側)	C'	D	E	F
水温(℃)	16.4	17.2	15.2	15.1	14.9	15.7	17.4
水深(cm)	5	8	11	4	4	5	5
PH	6.5	5.9	5.7	6.1	5.7	6.1	6.2
塩分濃度(%)	0.05	0.02	0.01	0	0	0.02	0.04
COD	8	4	8	2	2	4	6

山水は水温11.9℃、PH7.3、CODは2。海水は水温11.9℃、PH7.5、塩分濃度2.59%。水路の流量はベニヤ板破損の為計測不能でした。

【野鳥】大西会員

目立ったのはツバメがたくさん群がっていたこと。その中でコシアカツバメが2羽混ざっていました。ツバメより一回り大きいので直ぐわかります。ツバメよりコシアカツバメが後から渡ってきます。去る時もコシアカツバメが後から去っていきます。今日はシロハラ1羽、アオジ3羽、ホオジロ、メジロ、キセキレイの雄、コサメビタキ、サメビタキ、ムシクイ、コチドリ2羽、カルガモ2羽、とミサゴ。囀りが聞こえたのはヤマガラ、シジュウカラ、ウグイスでした。



コサメビタキ 入浜初認(大西)

【生物】松田会員(文・写真共)

入浜池の春の風物詩の一つと言えるシュレ

ーゲルアオガエルのコロコロッというよく通る声が響いていました。声は10以上、主に池周囲の湿地(泥地)から聞こえました。ちょうど倒木の下では、メスが後ずさりして土の中に潜り込みつつ、白い泡状の卵塊を産んでいる様子が観察されました。その背中には2匹のオスが抱きついていました。一方、春のトンボ類が羽化するにはまだ早い時期であるのに加え、曇りで照度も低いいためか、期待された「越年トンボ」たちの姿は見ることができませんでした。



泥中で抱接するシュレーゲルアオガエル

(まとめ 小林 颯)

訃報 会員佐藤佐十四様は、平成29年3月19日ご逝去されました。享年68歳。

同氏は、平成22年4月1日当会に入会され、また同年12月からは環境整備部会の幹事に就任し、当会の活動にご尽力いただきました。

ご冥福をお祈り致します。 合掌

会長 村上光春

『春愁』

故・佐藤佐十四氏の早世を悼み
俊英の逝去の報や春愁ひ

たえだえと沖の汽笛や春霞

シュレーゲル^{こわね}の声音かしまし水温む

入浜へしばし立ち寄りつばくらめ

小水に浜うぐいすのおかんむり

黒木隆信

多々良～青海苔清掃登山

高安ヶ原

青海苔浦

日 時：4月22日(土) 9:00～17:00

天 気：晴れ 行事推進員：猪谷 森

参加者：猪谷 岩崎 小川 北野 黒木 末原
増田 森 山崎 横路 吉崎 以上 11 名

爽やかな晴天のもと、11 名がタクシーに
乗し、9:30 多々良林道途中の登山道入口に集
合。小鳥の囀りに歓迎されながら、沢沿いの
登山道を 30 分間で標高差約 160m 登り、
10:00 尾根で休憩。先峠山と三ツ丸子山間の
鞍部である。此处から先峠山を巻き岩船岳主
稜線との合流点の海軍省碑を経て 10:30 頃、
高安ヶ原への分かれ道に到る。

急斜面を注意深く下り、途中、青海苔川へ
注いでいくであろう小さな流れを発見、10:50
高安ヶ原の石碑「陶晴賢敗死之所」に到着。

山崎会員から晴賢の辞世の歌「何を惜しみ
何を恨みん もとよりも このありさまの 定
まれる身に」を聴き、晴賢 35 歳の無念の死
に思いを馳せ、石碑前に咲く可憐な紫背スミ
レに見惚れつつ、石碑の周りで記念撮影。

青海苔川沿いの倒木も多い野趣に富んだ山
道を更に下り、取水地に到着。この水を大砂
利浄水場で水道水に浄水処理し、宮島島内に
給水していると末原部会長からの説明あり。

12:15 青海苔浦神社で美しい海と砂丘を前
にして待ち望んだ昼食。黒木会員がシャッ
ターを押し記念撮影。干潮のため汽水地は確認
出来ず。

13:00 帰路の途中、行く手左側に普段目に
することの無い急峻な獅子岩のピークを見て
感動し、榎木浦沿いを進み 14:45 大砂利に到
着。ここでタクシー組と分かれた。徒歩組は
車道沿いに、腰細浦を見ながら元気に歩き、
我々が活動拠点入浜に到着。流れを妨げるよ
うに倒れていた水路の土留め板を補修、スム
ーズな流れを確認。この後、自称健脚 5 人組
は、最後の難所鷹ノ巣越えに挑み、16:15 包
ヶ浦、17:00 無事、宮島栈橋に帰着。

途中、クロバイの白い花が車道脇に満開！
ミヤマガマズミ、ザイフリボクの白い花も満
開！コバノミツバツツジの淡桃色の花も満
開！シロダモの金色の新芽も一杯！

約 3 万歩、17km の長～い長～い行程でし
たが、宮島の魅力溢れる自然に心洗われる一
日でした。

今日 1 日の

歩行距離：約 17km(往 4.3+復 12.7)

累積標高差(+):約 540m(往 172+復 368)

累積標高差(-):約 645m(往 277+復 368)

お疲れ様でした。



② 青海苔浦神社



③ 筆リンドウ

青海苔浦



多々良林道登山口

往路

☞ 高安ヶ原

①



④青海苔浦と奇岩



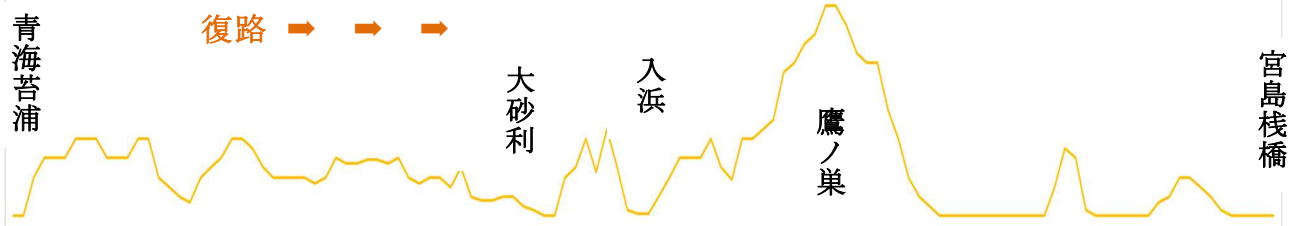
⑤青海苔浦神社



⑥クロバイ花と蕾



⑦左手に獅子岩



(文：猪谷 彦太郎 写真：①②③黒木 ④⑥⑦小川 ⑤岩崎 ⑧前田)

公募観察会 春の新緑と歴史の 宮島ウオーク

日 時：5月13日(土) 9:30~14:40

天 候：曇り後晴れ

行事推進員：佐藤 末原 山崎

参加者：岩崎 川崎 北野 黒木 小林ペア

佐渡 佐藤 末原 野呂田 前田 舩田

森 山崎 横路 以上 15 名

環境省 関自然保護官 川原 AR

公募参加者 24 名

朝 9 時半、棧橋前藤棚下に合計 41 名が集合。小林観察部会長、岩崎副会長、環境省の関自然保護官の挨拶。山崎会員をリーダーとする第 1 班と佐藤会員をリーダーとする第 2 班の 2 つの班に分かれ、佐渡会員が救急担当という体制で出発しました。厳島神社の参拝道の中で一番古い山辺の古径を通るコースで、

自然も歴史も、景色と町の人々の暮らしも垣間見ることができる欲張りなコースです。

まず、棧橋前にある誓真釣井に寄りました。誓真さんという僧が飲料水不足に困る島民のために掘った 10 か所の井戸の一つです。広島名水 100 選にも選ばれるほどの名水です。

次に要害山へと向かいました。日本三大奇襲の一つとして有名な要害山(宮尾城)では、対岸の五重塔の陶軍が 2 万人、この要害山には毛利軍何千人と戦力比較や駆け引きの話。



要害山

また昔から宮島がいかに大切な場所だったかにも話は及び、しばらくの間、要害山から東町の街並みと、正面の鮮やかな五重塔と千畳閣の景色を楽しみました。

弥山は新緑の中のあちこちに黄色い花をつけたツブラジイがパッチワークのように彩りを添えています。仁王門址を下り東町に入りました。



不動堂

厳島神社の鬼門にある不動堂は、しっかり厳島神社を守っておいでです。宝寿院の本尊、阿弥陀如来像は室町初期の作と言われ、秘仏となっています。

延命地蔵は、古くからこの参道を見守ってこられたお地蔵様です。奇妙な花の代表選手のようなアオテンナンショウやナンゴクウラシマソウなどの花を見ながら、誓真さんが修行された神泉寺跡を経て、谷ヶ原へ。



誓真大徳頌徳碑の説明

紅葉谷では、ブラタモリに出演した末原副会長の出番です。昭和 20 年、広島を襲った枕崎台風で土石流災害が発生したが、この災害復旧工事の特徴は、全国でも類のない巨石を庭園風にした岩石公園という点だそうです。

紅葉谷で昼食休憩 40 分。

コウヤマキの巨木、「御所之御松」の石碑などの説明を聞き、「たのもさん」と親しみを込めて呼ばれる四宮神社へ。そして新緑の

トンネルのもみじ歩道を歩いて白糸川に。



紅葉谷 岩石公園の説明

平成 17 年の白糸川砂防事業について末原副会長の説明を聞きました。大聖院から少し行ったところに、弥山の素晴らしさをたたえる大きな石碑があります。明治時代に伊藤博文公が、弥山参道の大改修をされました。

桜の名所となっている西の丘の多宝塔を経て緩やかな階段を下り大元公園に着きました。



大元公園

大元公園は、海岸線からモミの木が繁茂する世界的にも珍しいと言われる自然公園です。

園内には、厳島合戦の最後の決戦の場所で、陶軍の敗死者の血が流れたと伝えられている古戦場跡があり、説明に耳を傾けました。

大元休憩所で、全員無事到着を確認し、終了挨拶の後、解散しました。

公募観察会下見は次の通り実施しました。

5月6日(土) 9:30~13:40、天候：曇り

コース：公募観察会(本日)と同じ

行事推進員：黒木

参加者：猪谷 岩崎 北野 黒木 小林(勗) 佐藤

末原 野呂田 前田 山崎 横路 呼坂 以上 12 名

(文：野呂田 恵子 写真：横路 前田)

公募観察会アンケート結果 (参加者 24 名、回答者 23 名)

参加者の性別		参加者の年代					観察会参加回数			行事を知ったのは(複数回答有り)					行事の感想	
男性	女性	70代	60代	50代	40代	30代	初めて	2回目	3回以上	インターネット	環境省 案内	ポス ター・ チラシ	新聞	その他	満足	やや満足
15	8	8	9	3	1	2	12	7	4	3	5	3	12	5	18	5
人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人

<p>女性 35% 男性 65%</p>	<p>70代 35% 60代 39% 50代 13% 40代 9% 30代 4%</p>	<p>初めて 52% 2回目 31% 3回以上 17%</p>	<p>新聞 43% 環境省案内 18% その他 18% インターネット 10% ポスター・チラシ 11%</p>	<p>満足 78% やや満足 22%</p>
--------------------------	--	---	--	----------------------------

●参加したきっかけは

- ・宮島の自然や歴史をもっと知りたい。
- ・秋に散策する事前勉強のため参加した。
- ・野鳥、植物に興味がある。
- ・歴史散策。何度も来ても未知が多いです。
- ・宮島の歴史、自然、人々に興味がある。
- ・いままで知らなかった宮島を知りたい。
- ・自然の中で体を動かす。
- ・ボランティアガイドの説明を聞きたかった。

●観察会内容

- ・大変詳しく説明していただいた。
- ・興味深い説明で良かった。
- ・歴史を聞き、また宮島が好きになった。
- ・歴史を詳細に説明され満足しています。
- ・歴史的背景、秘話は良かった。
- ・江戸時代の参道、寺社跡地、植物の事等。
- ・聞きながら歩くペースが丁度良かった。
- ・新緑、木々の花が見られ、この時期でない
と味わえない観察会でした。感謝！感激！

●講師・テキスト

- ・大変良かった、分かり易かった。
- ・コースの詳しい説明資料が欲しかった。
- ・満足しています(細かい点までの説明)。
- ・良く勉強しておられ、感銘を受けました。
- ・丁寧、親切、細かく興味深い説明に感謝。

●その他

- ・途中少し疲れてしまったのが残念でした。
- ・講師がうまかったです。感謝。
- ・例えば江戸時代は、どうだった・・・等、
街並みも歩いて見たい。
- ・毎回大発見の連続です。
- ・塩みかんもご馳走様でした。地元の方でな

いと教えて頂けないお話を味わえました。

●ご意見、ご希望があれば記入してください

- ・野鳥が観察できればいい。
- ・普段歩かないルートの説明、大変参考になりました。秋には今日のルートを説明して歩きたい。
- ・夏、秋にも、今後の観察会に参加したい。
- ・いろいろ楽しいお話、単なる山歩きでもなく、変ったコースも歩いて良かった。
- ・宮島一周も企画して下さい。
- ・又次回を楽しみにしています。
- ・昔の人々の生活、住んでいる方々と神社の
関係、etc. 神社そのものを、精査したい。
- ・杉之浦、砲台跡等、他の古道歩きを希望。
- ・同様のイベントを増やしてほしい。

幾つかの改善点のヒントと元気の出るご感想をいただきました。有難うございました。

(まとめ 舛田 祐子)

◇ 編 集 後 記 ◇

春の行事が無事終わりました。海辺の多い夏の行事が楽しみです。引き続きご協力をよろしくお願いいたします。(前田)

瀬戸内海国立公園 宮島地区パークボランティアの会

事務局：環境省 中国四国地方
環境事務所 広島事務所
(〒730-0012)

広島市中区上八丁堀 6 番 30 号
広島合同庁舎 3 号館 1 階

TEL082-223-7450、FAX082-211-0455